

■ ようさんしんこう
養蚕振興に尽くす

茂木 亀六

もてぎ かめろく

出身地 湯沢市（旧稲川町）

1837年（天保8年）～1889年（明治22年）

おがち ち そ 雄勝郡地租改正総代人として、郡全体の田畑宅地の
実地測量に当たり、近代的な所有権、税制の確立に

こうけん おがち 貢献。雄勝製糸所・さんし とりしまり 県蚕糸業組合取締所・雄勝郡

ようさん 養蚕伝習所を創立、そうりつ ようさんじゆんかい 県養蚕巡回教師となり秋田県

ようさんぎょう しんこう じんりよく
養蚕業の振興に尽力。



年譜

- 1837年 いなかわ 湯沢市（旧稲川町）に生まれる。旧姓・関。
1856年 みつまた きもいりやく あげどがわら 三又村肝煎役。明戸川原の新田開発に成功。
1873年 こちょう 秋田県第7大区1小区戸長。
1874年 おがち ち そ 雄勝郡地租改正総代人。雄勝製糸所を設立。
1880年 県会議員。
1881年 おがち 『雄勝郡史』 おがち し 『雄勝郡村誌』 へんさん を編纂。
1883年 まゆいと かいさい しんさ 雄勝郡繭糸共進会開催、審査長。
1886年 さん しぎょう とりしまり 秋田県蚕糸業組合取締所を開設、頭取。
ようさんじゆんかい 農商務省の秋田県養蚕巡回教師。
1889年 かづの ぼつ さい 県会副議長。鹿角市で没。52歳。